

日本データセンター協会 2015年度市場調査のまとめ



2016/6/1
JDCC市場調査グループ

- **調査協力企業** :
 - 75社（前年比 -3）
 - 350 データセンター（前年比 +87）
 - （中堅、大手の事業者の8割以上は補足と推測）
 - DC事業者のみ、大手企業のインハウス、研究所、大学、公官庁のDCを除く

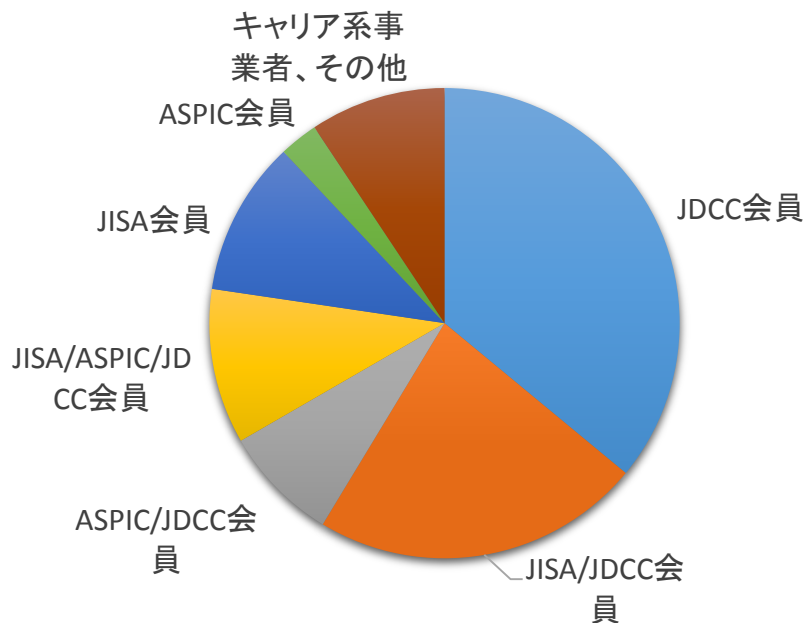
- **質問項目数** :
 - **新しい調査項目** — 海外のDCビジネス状況、DC老朽化対策など

- **調査方法** :
 - 2015年12月にアンケートを配布
 - 2016年2月に回答頂いた内容を分析

- **主な結果** :
 - 昨年度より回答会社の数が減少をしたが、
 - DC回答数は大幅な増加
 - 東京及び関東圏にデータセンターが集中ではあるが、
 - 関西方面に伸びが見られる

- **協力企業 ・ ビジネス分析**
- **データセンター概要比較**
- **データセンター性能分析**
- **地域別比較**
- **トレンド**

会員区分 2015



年度	社数
2015年度	75社
2014年度	78社
2013年度	86社
2012年度	84社
2011年度	59社

会社概要

	2015平均値	2014年比
資本金	476億円	+111億円
売上高	6433億円	+1810億円
DC事業売上高	77億円	+23億円
従業員数	5531人	+1542人
DC事業従業員	119人	-5人

海外でのDC事業数

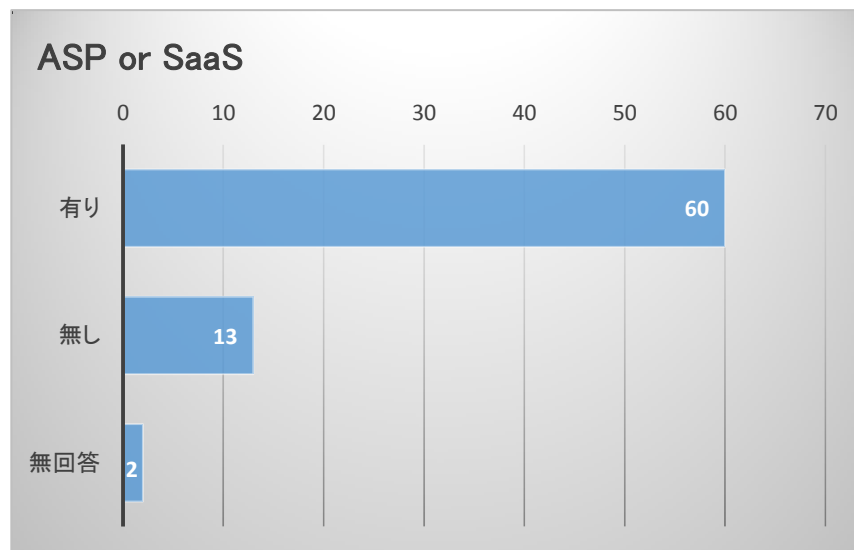
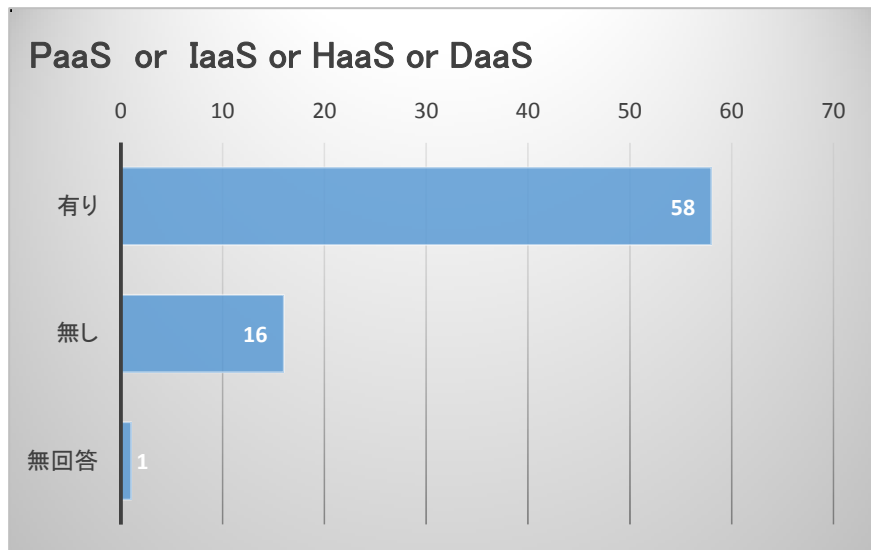
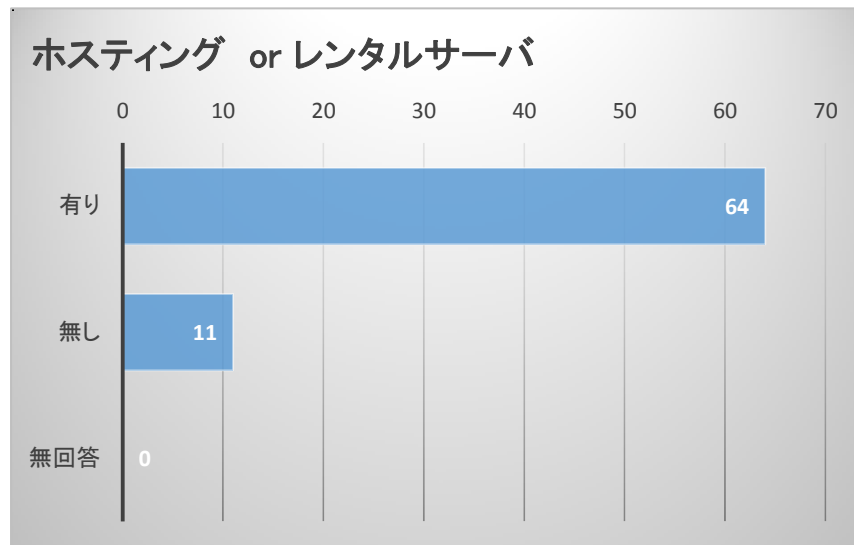
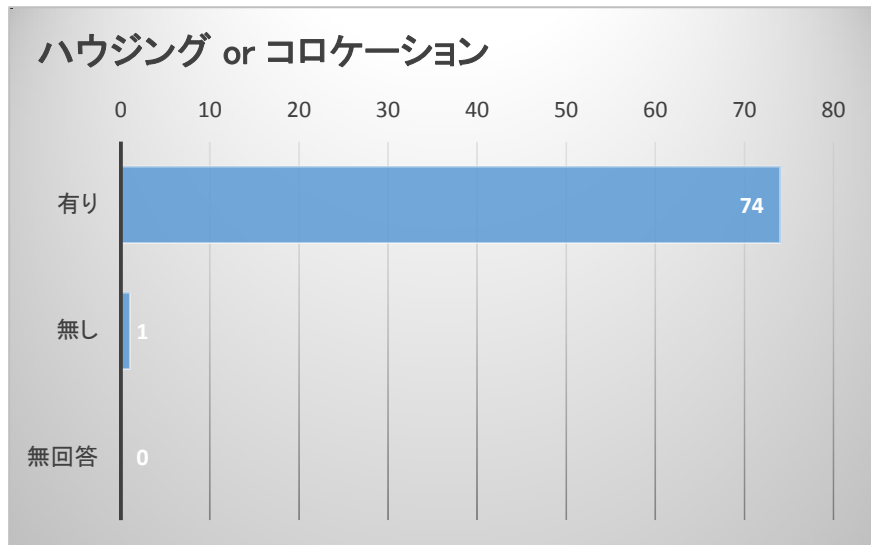
		回答数
海外でのDC数	217	45
総床面積	平均5447㎡	36

設問ID	設問	今回の集計値						参考: 前回の集計値		
		合計値	N数	無回答	平均値	最大値	最小値	平均値	N数	
D08	建物建築年	581,913	292	58	1,992.9	2,016	1,951	1,996.2	214	(西暦)
D11.1	階数 地上	2,199	292	58	7.5	60	1	7.3	215	階
D11.2	階数 地下	300	216	134	1.4	8	0	1.2	154	階
D12	データセンター設置年度	635,143	317	33	2,003.6	2,016	1,972	2,004.5	232	(西暦)
D15	使用総床面積	2,103,664	291	59	7,229.1	140,000	20	9,649.1	216	m ²
D16.1	サーバー室面積合計	490,554	231	119	2,123.6	27,300	20	2,334.2	192	m ²
D16.2	サーバー室面積①自社利用分	22,401	152	198	147.4	11,198	0	210.3	73	m ²
D16.3	サーバー室面積②顧客向け-エンドユーザ	439,165	242	108	1,814.7	27,300	0	2,027.3	183	m ²
D16.4	サーバー室面積③顧客向け-DC事業者	34,013	147	203	231.4	11,000	0	483.6	60	m ²
D17	設置可能ラック数	174,995	264	86	662.9	12,400	6	801.6	184	ラック
D18	ラック当たりの平均供給可能電力	873	256	94	3.4	15	1	3.7	177	kVA/ラック(実効/諸元)
D19	ラック当たりの最大供給可能電力	1,459	233	117	6.3	35	0	8.0	146	kVA/ラック(実効/諸元)
D22	無給油での自家発電連続運転時間	11,681	291	59	40.1	291	0	43.4	208	時間
D23	サーバー室床耐加重	281,780	312	38	903.1	4,000	290	849.6	226	Kg/m ²
D24	データセンター最大受電能力	1,166,059	216	134	5,398.4	86,000	12	7,418.5	139	kVA
D25	データセンター現在受電量	345,007	181	169	1,906.1	18,000	0	2,190.9	104	kVA
D28	現在IT機器使用電力量	143,391	158	192	907.5	14,836	0	745.0	81	kVA
D30	現在のPUE値	196	106	244	1.9	10.0	0.0	1.8	91	
D32	設計PUE値	74	50	300	1.5	2.3	1.1	1.5	38	
D37.2	オフィススペース 広さ	155,822	74	276	2,105.7	34,651	6	2,537.2	61	m ²
C06	資本金	34,720	73	2	475.6	4,587	0.2	368.9	74	億円
C07	売上高	424,581	66	9	6,433.0	202,071	0.0	4,690.3	63	億円
C08	内データセンター事業の売上高	2,237	29	46	77.1	884	0.0	54.5	26	億円
C09	従業員数	392,691	71	4	5,530.9	159,000	14	4,013.7	71	人
C10	内データセンター事業に関わる従業員数	4,759	40	35	119.0	1,100	6	125.6	37	人
C27	海外でのDC数	217	45	30	5	145	0	3	43	
C28	海外におけるDCの総床面積	196,091	36	39	5,447	195,791	0	68	34	m ²

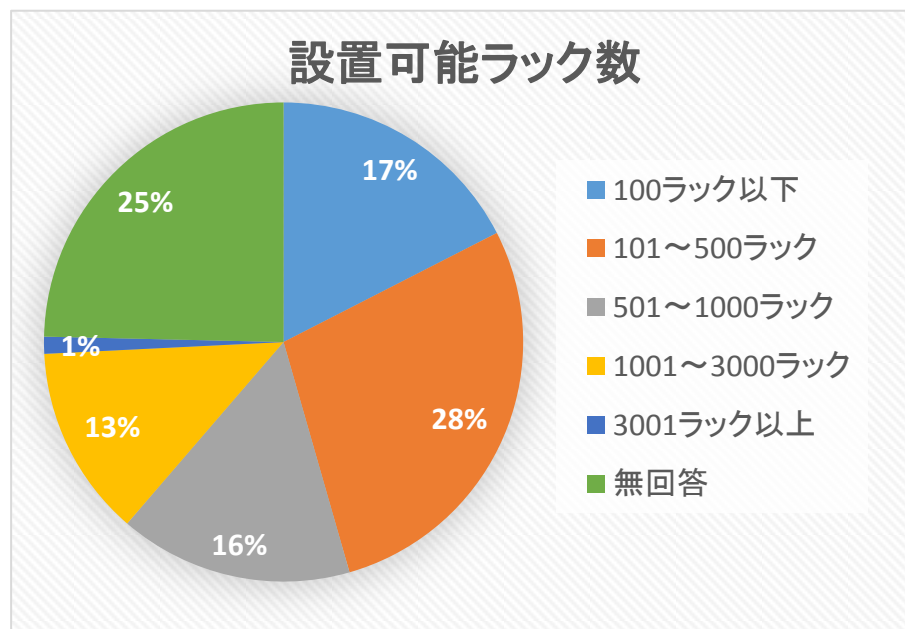
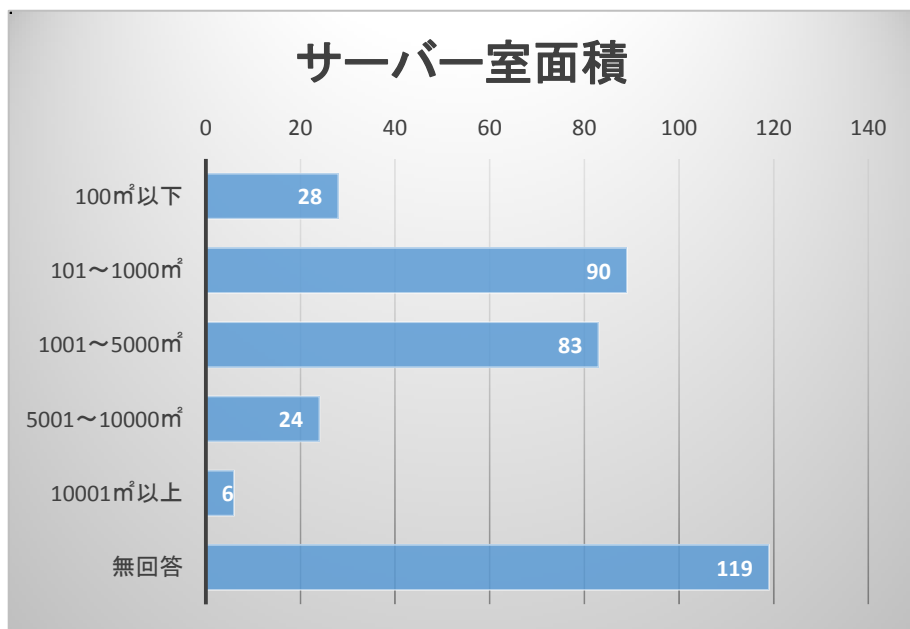
回答企業一覧

企業名	会員区分	回答社数	回答データセンター数
株式会社インテジテクノスフィア	JISA会員	1	1
北電情報システムサービス株式会社		1	1
東北インフォメーション・システムズ株式会社		1	1
株式会社エヌ・ティ・ティ・データ		1	14
センコー情報システム株式会社		1	1
日本システムウェア株式会社		1	2
(社名非公開)		2	2
(社名非公開)	ASPIC会員	2	77
株式会社IDCフロンティア		1	9
株式会社アット東京	1	4	
さくらインターネット株式会社	1	5	
セコムトラストシステムズ株式会社	1	5	
株式会社ケイ・オブティコム	1	3	
ビットアイル・エクイニクス株式会社	1	6	
丸の内ダイレクトアクセス株式会社	1	2	
ソフトバンク株式会社	1	12	
NECネットエスアイ株式会社	1	3	
エクイニクス・ジャパン株式会社	1	5	
株式会社キューデンインフォコム	1	2	
株式会社シーイーシー	1	3	
株式会社STNet	1	3	
富士ソフト株式会社	1	4	
株式会社オービス総研	1	3	
株式会社ミライコミュニケーションネットワーク	1	2	
株式会社JSOL	1	3	
鈴与シンワート株式会社	1	1	
コアネットインタナショナル株式会社	1	1	
ほくでん情報テクノロジー株式会社	1	1	
使えるねっと株式会社	1	1	
西鉄情報システム株式会社	1	1	
株式会社エネルギー・コミュニケーションズ	1	2	
中部テレコミュニケーション株式会社	1	3	
株式会社メイトソコム	1	1	
株式会社ブロードバンドタワー	1	4	
カゴヤ・ジャパン株式会社	1	2	

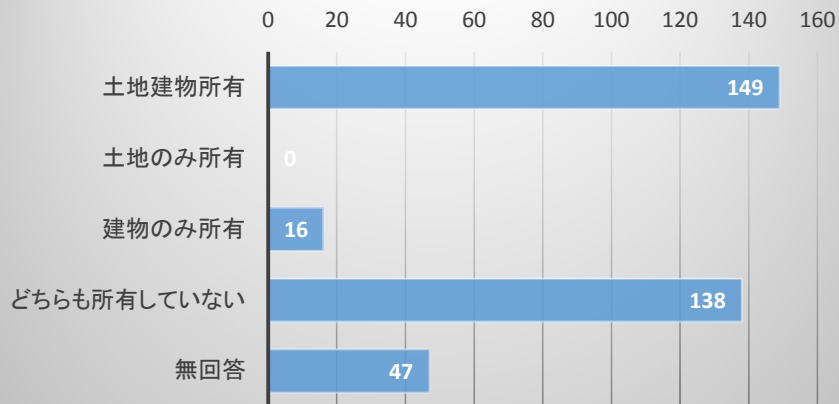
富士通株式会社	JISA/JDCC会員	1	8
関西システムソリューションズ株式会社		1	1
株式会社インテック		1	7
株式会社TKC		1	1
株式会社BSNアイネット		1	2
AGS株式会社		1	1
富士通エフ・アイ・ピー株式会社		1	8
三菱総研DCS株式会社		1	1
クオリカ株式会社		1	3
株式会社 電算		1	1
株式会社HBA		1	1
三井情報株式会社		1	1
SCSK株式会社		1	9
株式会社アイネス		1	3
伊藤忠テクノソリューションズ株式会社		1	7
株式会社シーエーシー	1	1	
(社名非公開)	1	1	
株式会社 日立製作所	ASPIC/JDCC会員	1	18
株式会社インターネットイニシアティブ		1	1
三菱商事株式会社		1	2
株式会社TOKAIコミュニケーションズ		1	2
NECフィールディング株式会社		1	3
青い森クラウドベース株式会社		1	1
日本電気株式会社	JISA/ASPIC/JDCC会員	1	13
三菱電機インフォメーションネットワーク株式会社		1	4
日本ユニシス株式会社		1	2
株式会社両備システムズ		1	2
鉄道情報システム株式会社(略称 JRシステム)		1	1
日本電子計算株式会社		1	1
株式会社石川コンピュータ・センター		1	1
(社名非公開)		1	4
株式会社ビーシーシー	キャリア系事業者、その他	1	1
KDDI株式会社		1	8
東日本電信電話株式会社		1	28
西日本電信電話株式会社		1	9
(社名非公開)		3	3
		75社	350データセンター



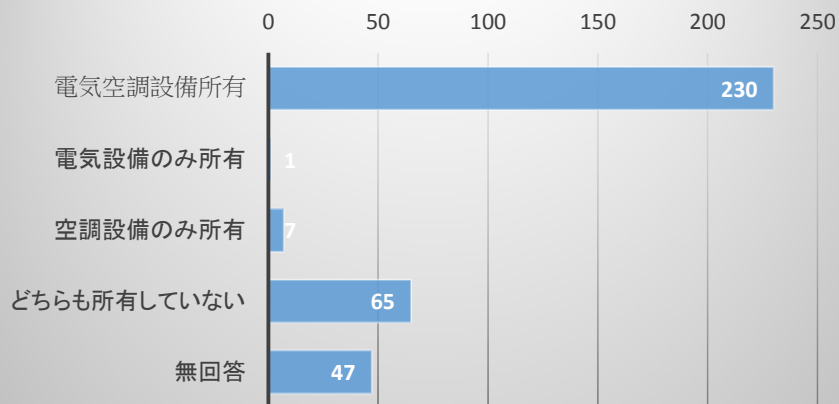
2015年			回答数
設置年度	平均	2004	317/350
総面積	合計	2,103,664 m ²	291/350
サーバー室面積	合計	490,554 m ²	231/350
- 自社利用分	合計	22,401 m ²	152/350
- エンドユーザー向け	合計	439,165 m ²	242/350
- DC事業者向け	合計	34,013 m ²	147/350



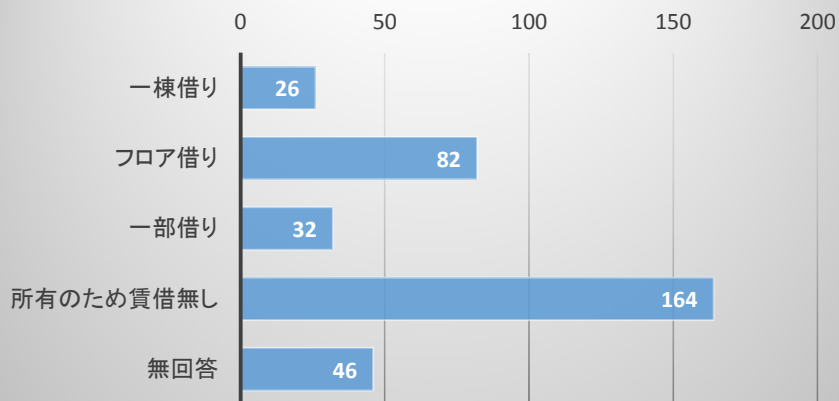
所有形態(土地/建物所有)



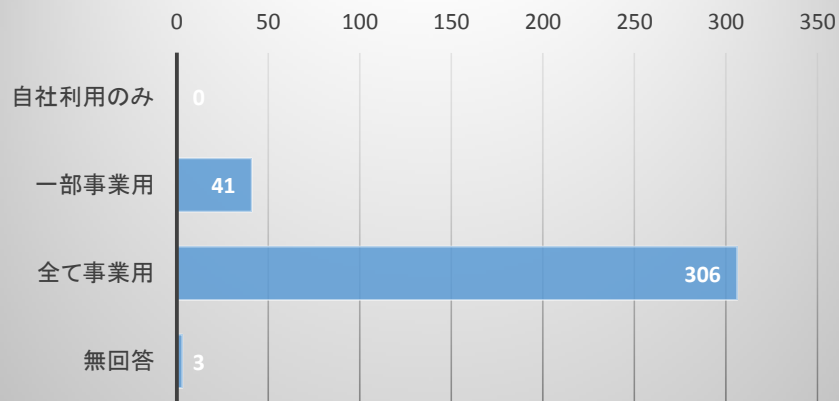
所有形態(設備所有)



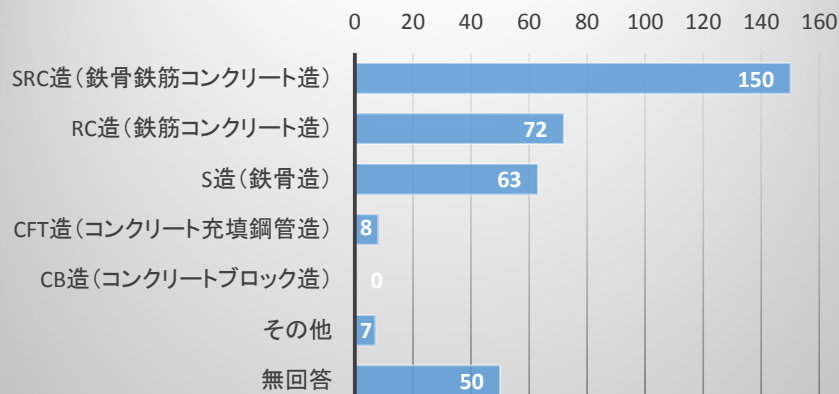
所有形態



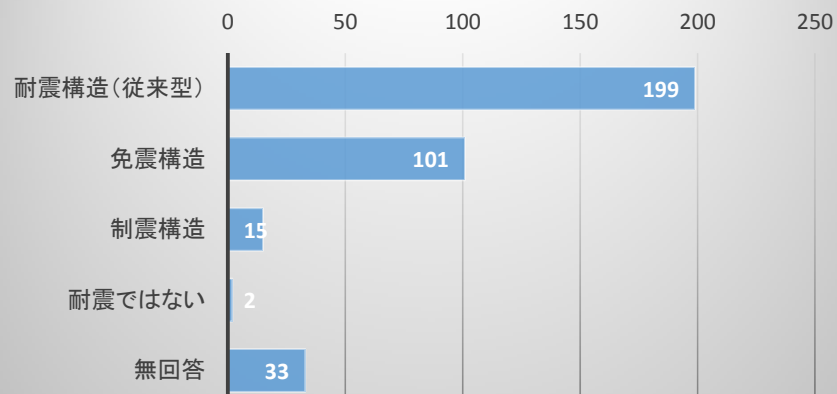
データセンター用途



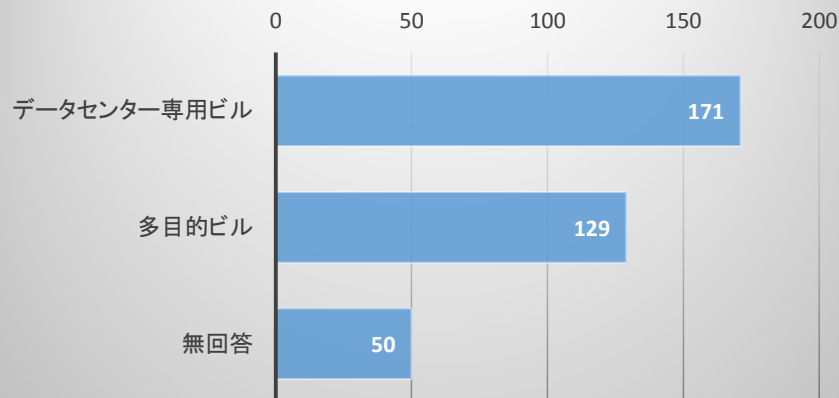
構造



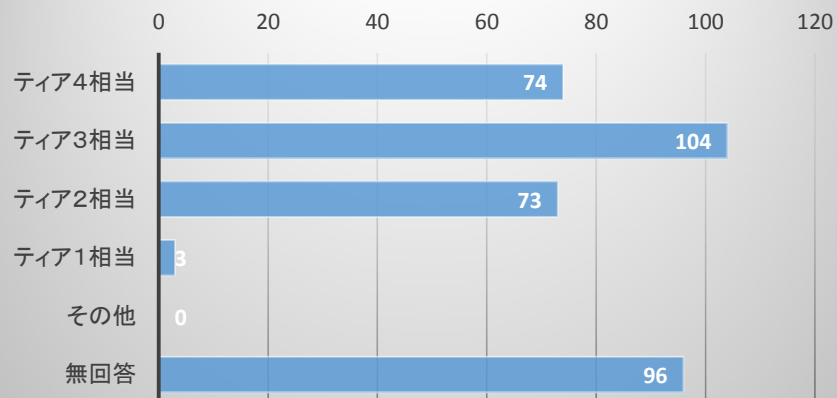
耐震構造



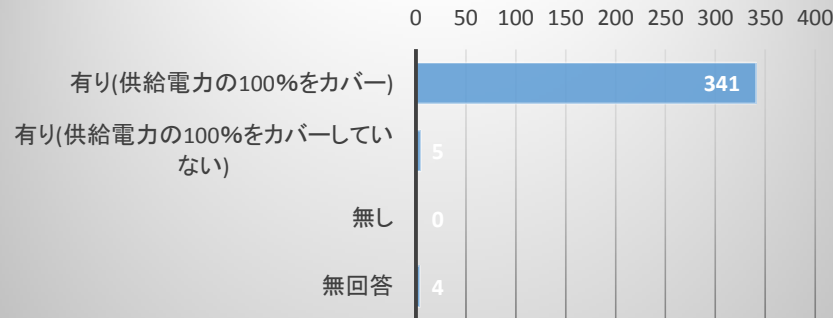
建物の用途



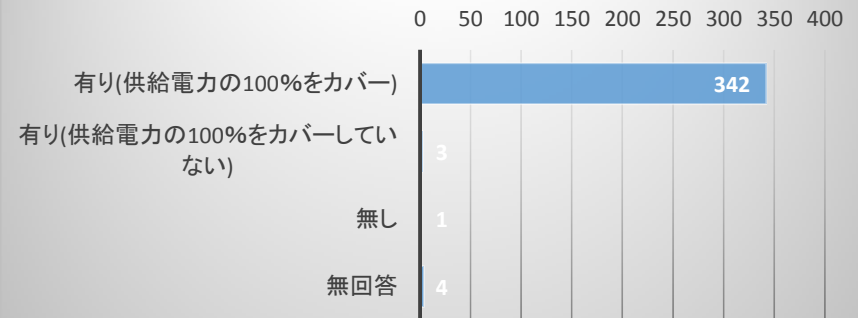
ファシリティスタンダードレベル



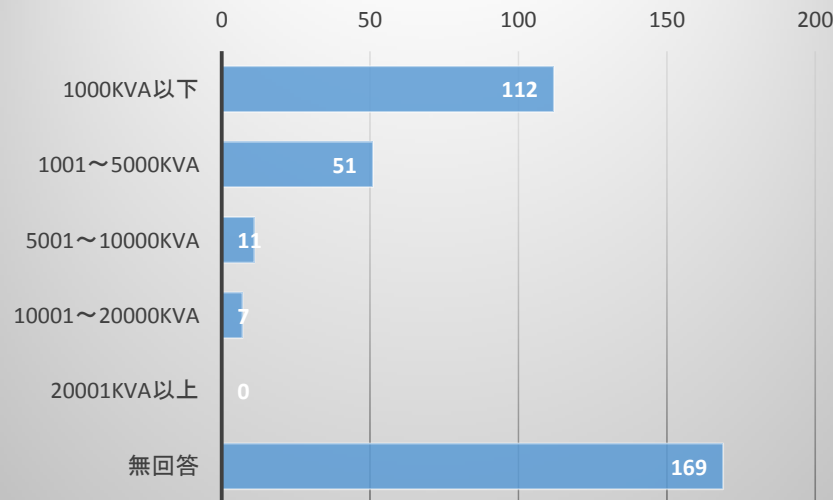
無停電電源装置の有無



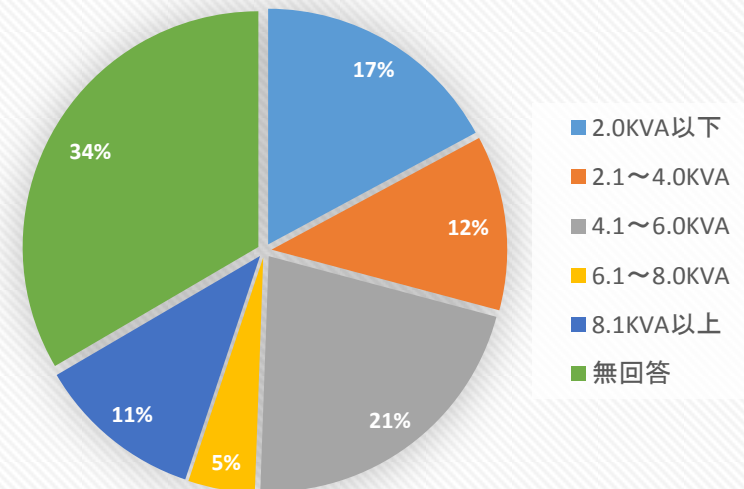
自家発電装置の有無



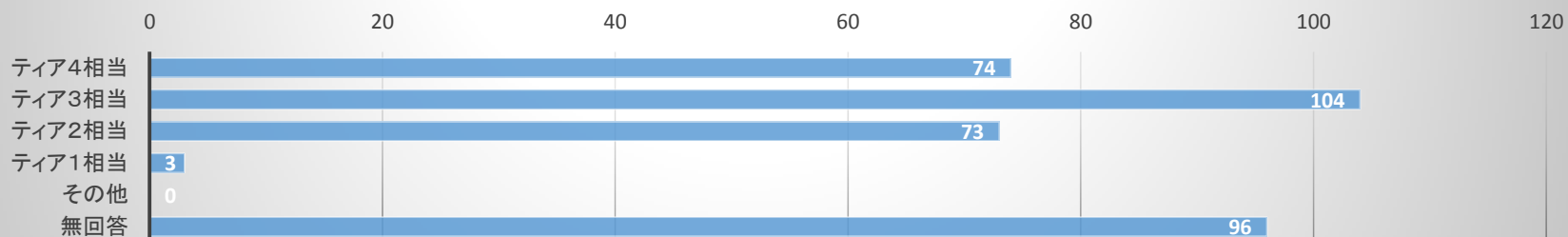
データセンター現在受電量



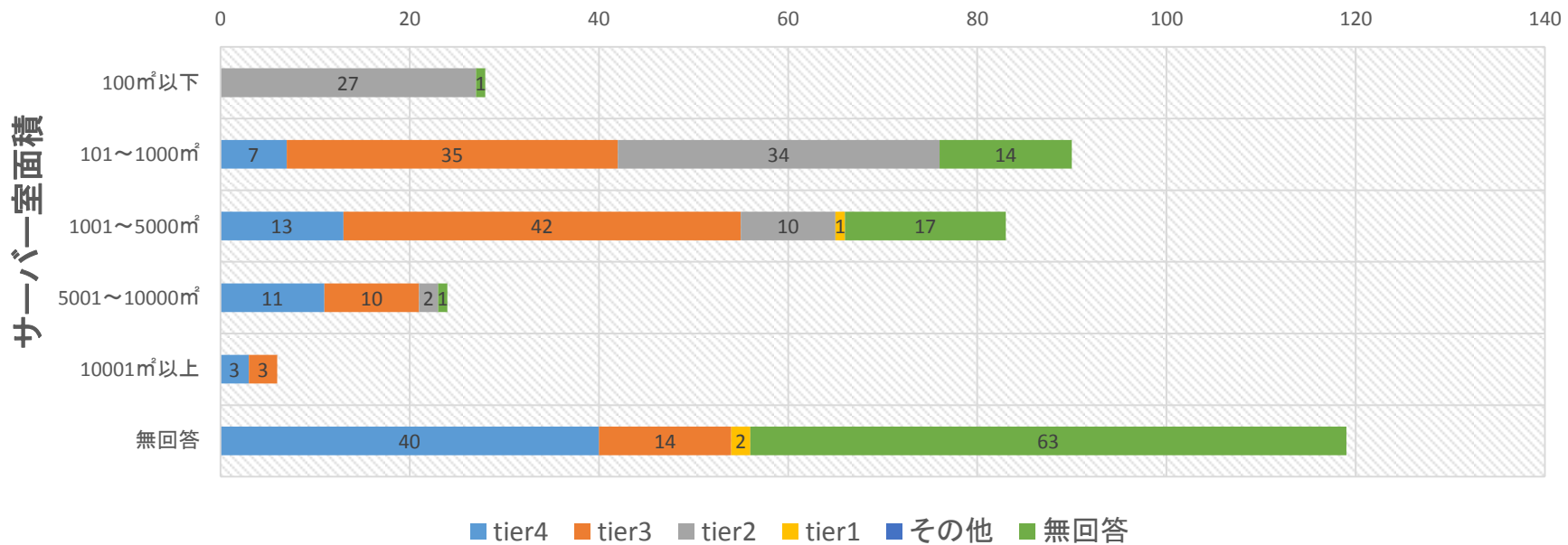
ラックあたりの最大供給可能電力



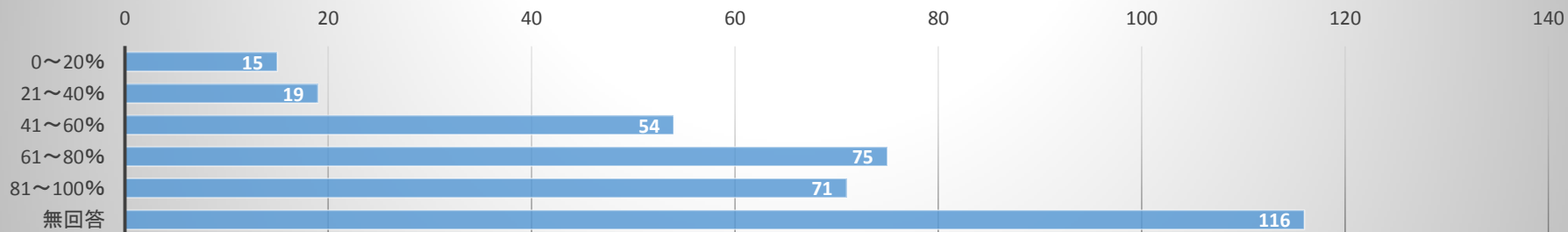
ファシリティスタンダードレベル



データセンター数



データセンターの現在の稼働率

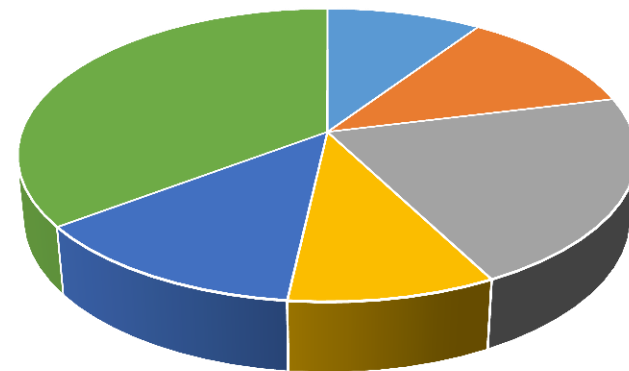
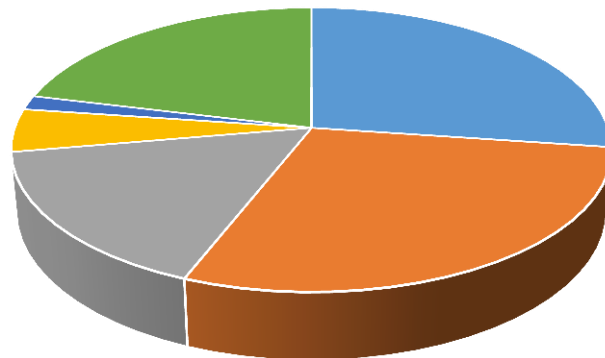
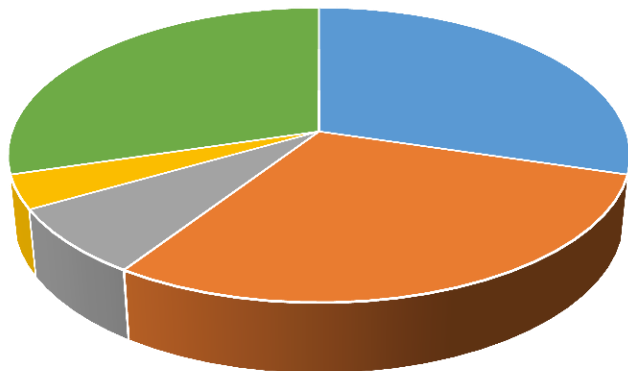


データセンター稼働率の変化

1990~1999年

2000~2009年

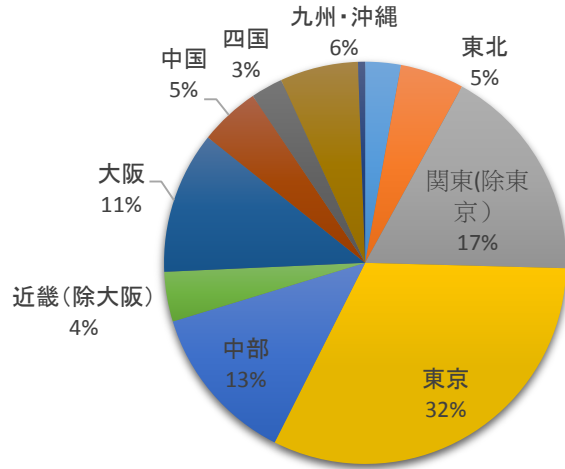
2010年以後



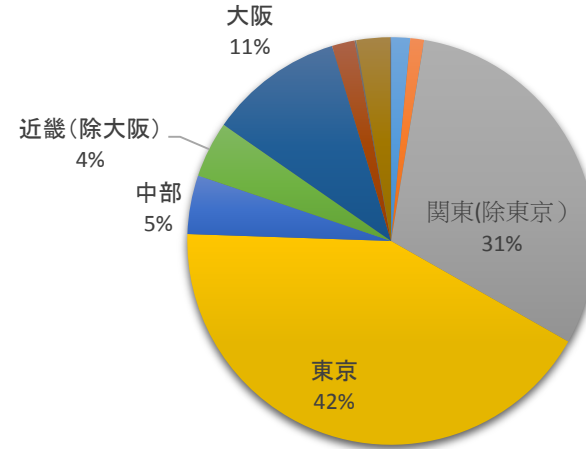
■ 81~100% ■ 61~80% ■ 41~60% ■ 21~40% ■ 20%以下 ■ 無回答

2015

地域別DC数

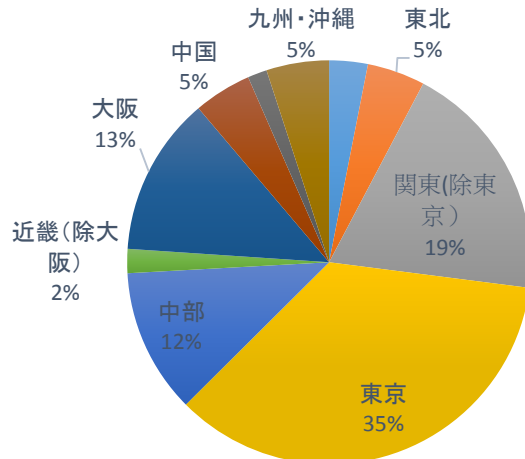


地域別サーバー室面積

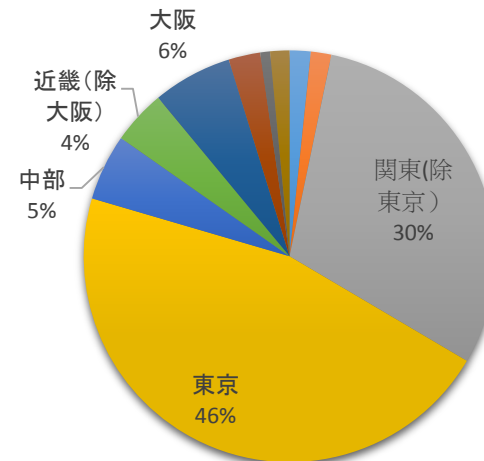


2014

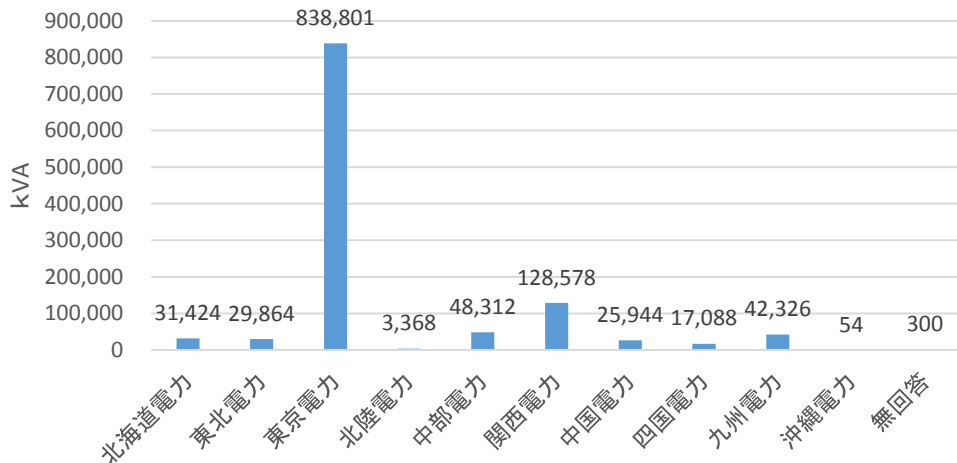
地域別DC数



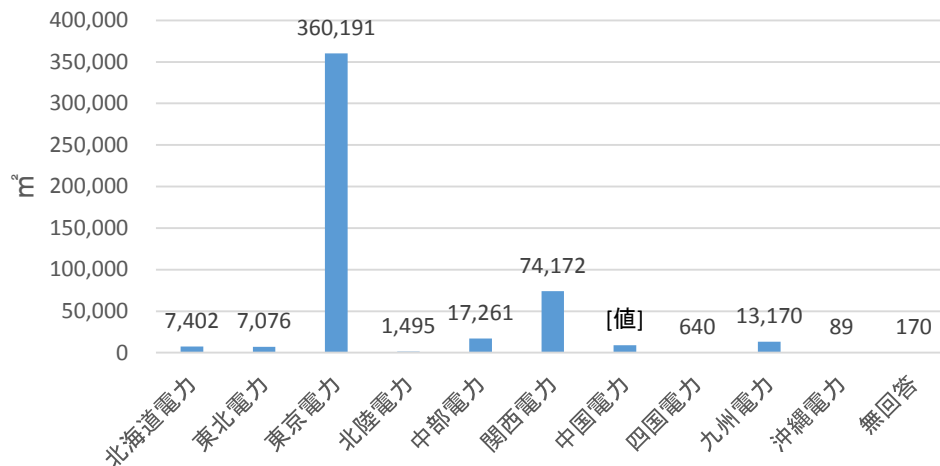
地域別サーバ室面積



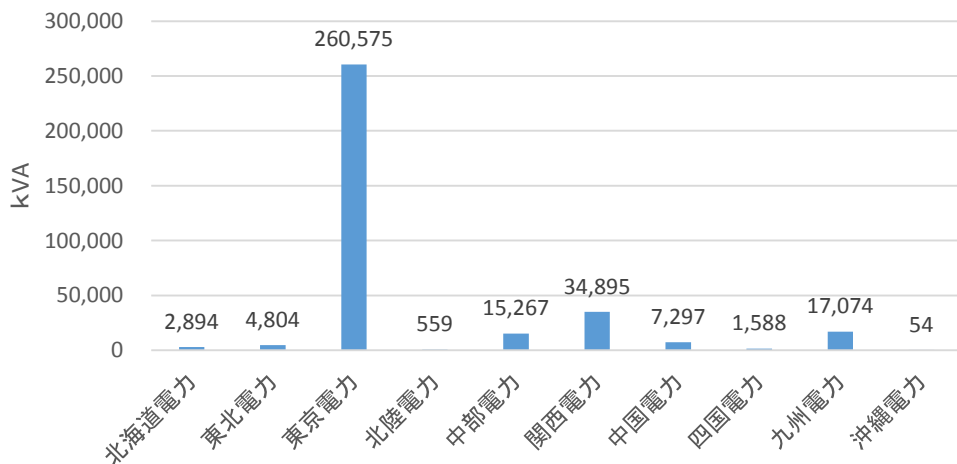
データセンター最大受電能力



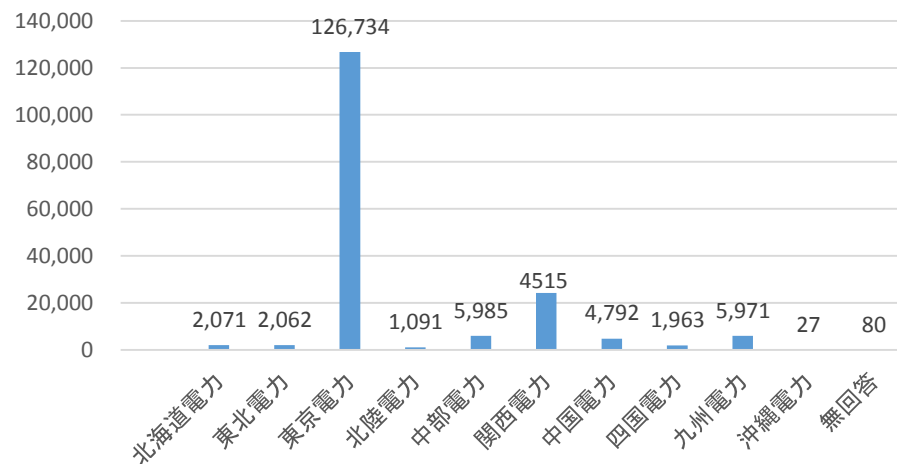
サーバー室面積(合計)



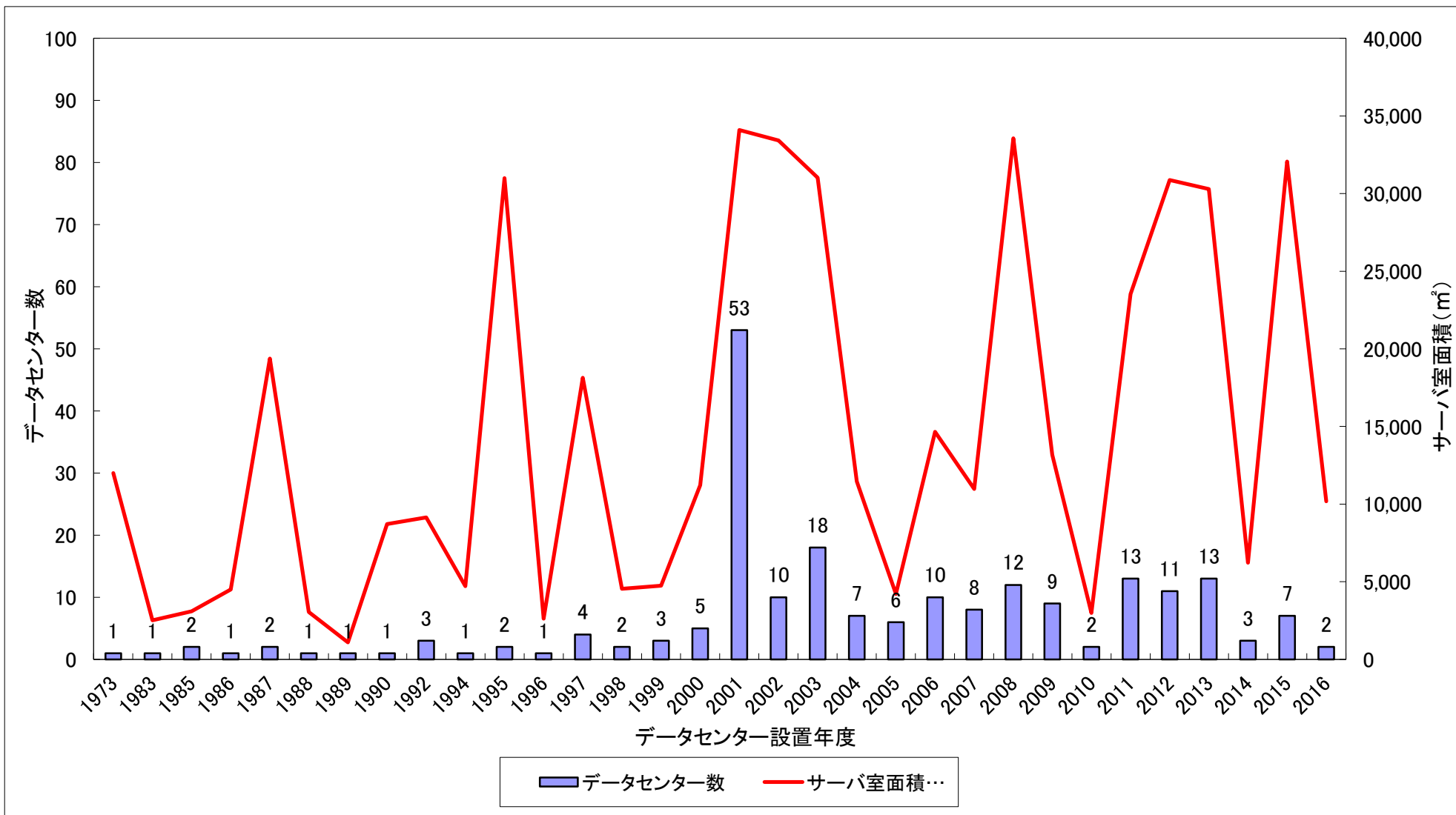
データセンター現在受電量



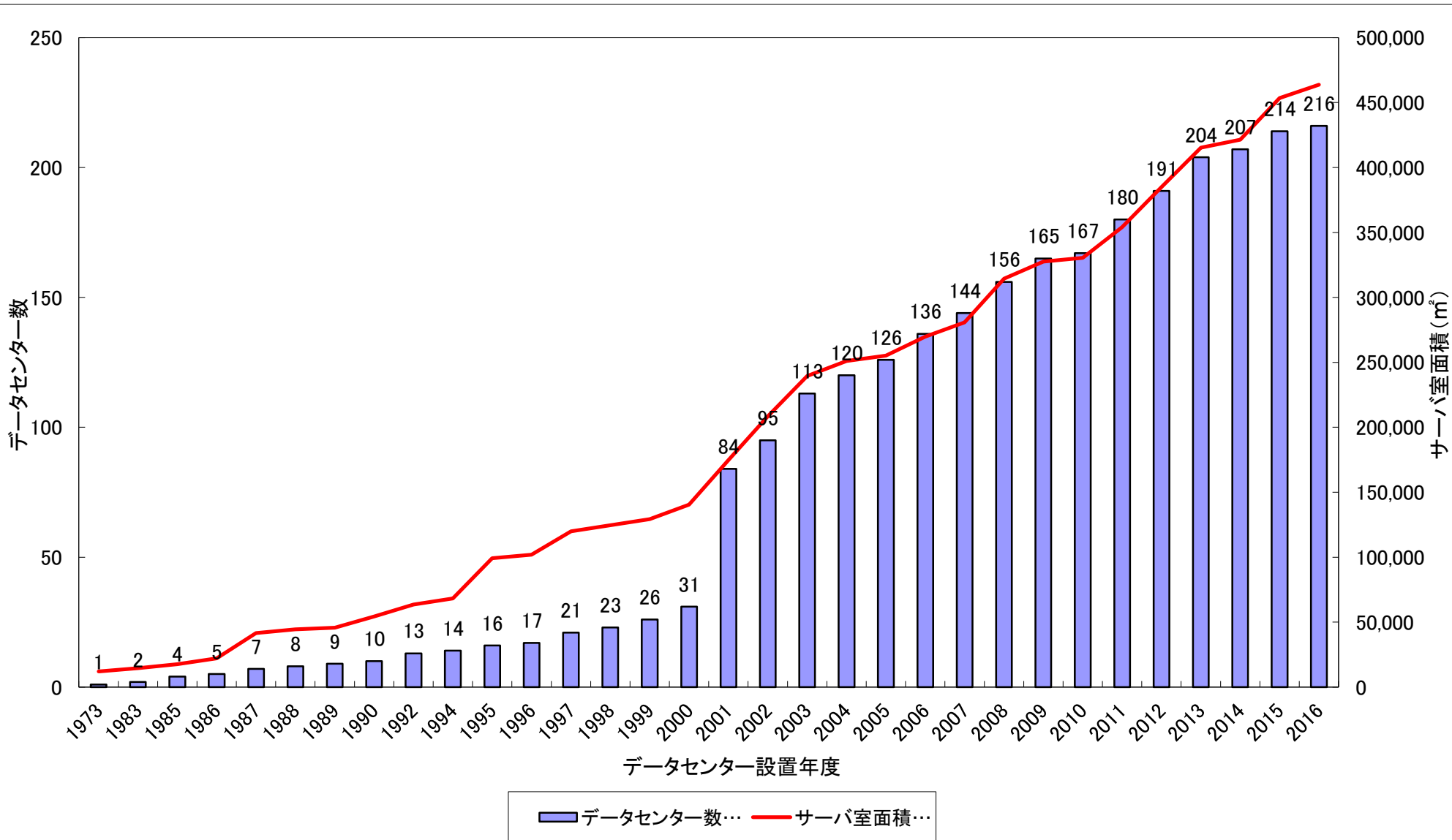
設置可能ラック数



DC設置とサーバ室面積(年度別)

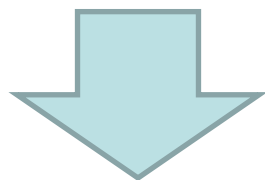


DC設置とサーバー室面積



設置可能なサーバ台数

	集計	回答数	補正	1/3
SV室面積	490,554㎡	231/350	743,000㎡	24.8万ラック
SVラック数	174,995ラック	264/350	23.2万ラック	



24万ラック程度：1ラック平均5サーバとすると
120万サーバが収容可能となる

日本の総稼働SV数：約300万SV

IT機器設置容量

	平均値	最大	昨年
ラックあたりの平均供給電力量	3.4	15	-0.3
ラックあたりの最大供給電力量	6.3	35	-1.7
サーバー室耐荷重	903	4,000	+51

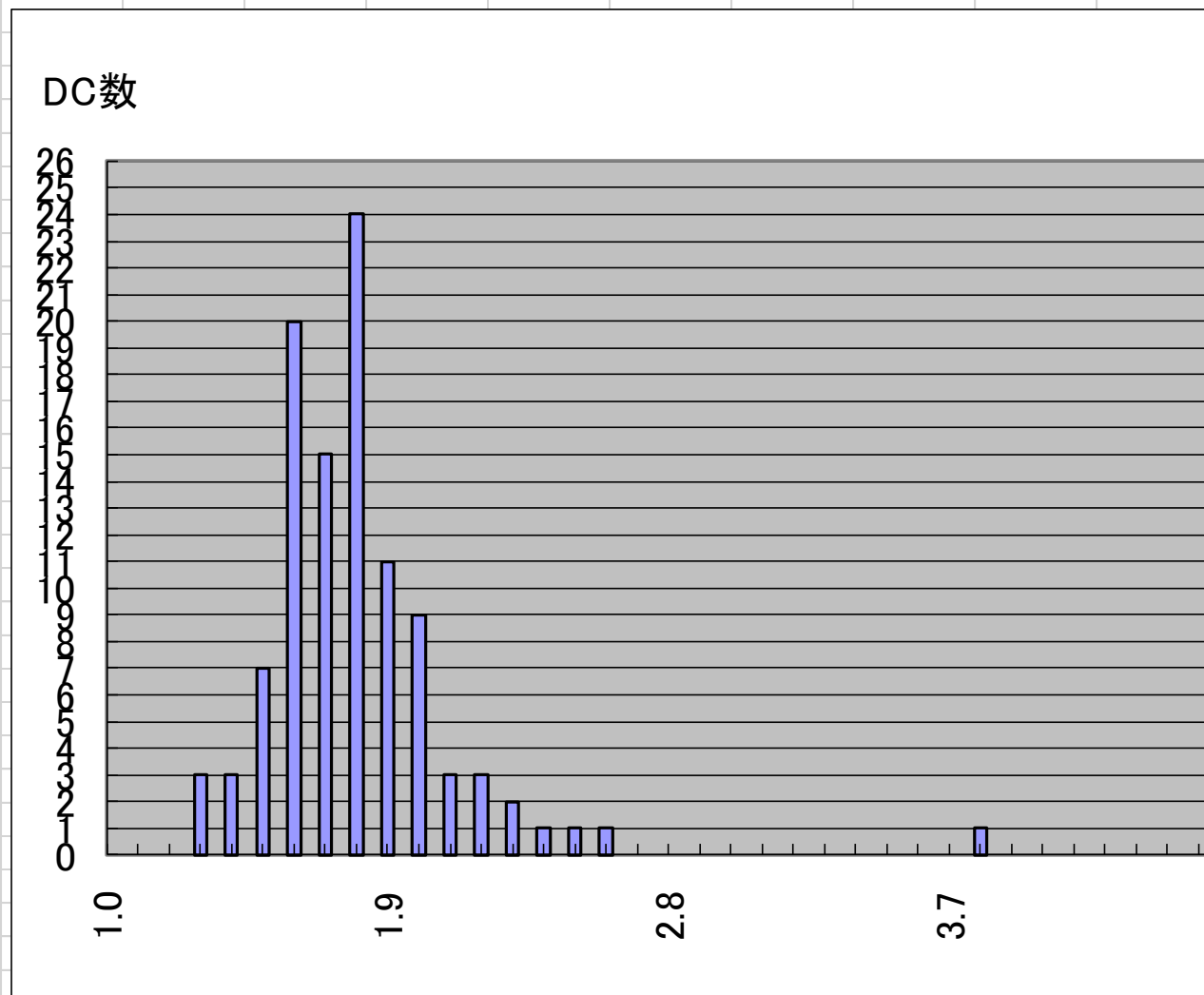
PUE値

	平均値	最少～最大	回答数	昨年
設計PUE値	1.5	1.1～2.3	50/350	1.5 38/261
現在のPUE値	1.9	0～10	106/350	1.8 91/261

実績PUEの分布 (N値 = 104/350)

PUE(0.1刻み)	DC数
1.0	
1.1	
1.2	
1.3	3
1.4	3
1.5	7
1.6	20
1.7	15
1.8	24
1.9	11
2.0	9
2.1	3
2.2	3
2.3	2
2.4	1
2.5	1
2.6	1
2.7	
2.8	
2.9	
3.0	
3.1	
3.2	
3.3	
3.4	
3.5	
3.6	
3.7	
3.8	1
3.9	
4.0	
4.1	

取扱注意: N値が少ないため、このPUE値は、DC全体の平均より、かなり良い数字の可能性が高いと推測されます。業界平均ではないことに注意願います。



■ 現在PUE × ファシリティースタンドラードレベル

	ファシリティースタンドラードレベル					
	Tier4	Tier3	Tier2	Tier1	無回答	全体
N数	20	68	12	2	3	105
PUE最大値	10.0	3.8	2.6	1.6	1.7	10.0
PUE最小値	1.4	1.3	1.6	1.6	1.3	1.3
PUE平均	2.2	1.8	2.0	1.6	1.5	1.8
無回答	54	36	61	1	93	245
無回答含むN数	74	104	73	3	96	350

※「現在のPUE」と「ファシリティースタンドラードレベル」両方に回答のあったN値 = 102/350

※全体は、「ファシリティースタンドラードレベル」が無回答であったものも含むN値 = 105/350

■ 設計PUE × ファシリティースタンドラードレベル

	ファシリティースタンドラードレベル					
	Tier4	Tier3	Tier2	Tier1	無回答	全体
N数	22	25	1	1	1	50
PUE最大値	1.9	2.3	1.6	1.5	1.1	2.3
PUE最小値	1.2	1.2	1.6	1.5	1.1	1.1
PUE平均	1.4	1.5	1.6	1.5	1.1	1.5
無回答	52	79	72	2	95	300
無回答含むN数	74	104	73	3	96	350

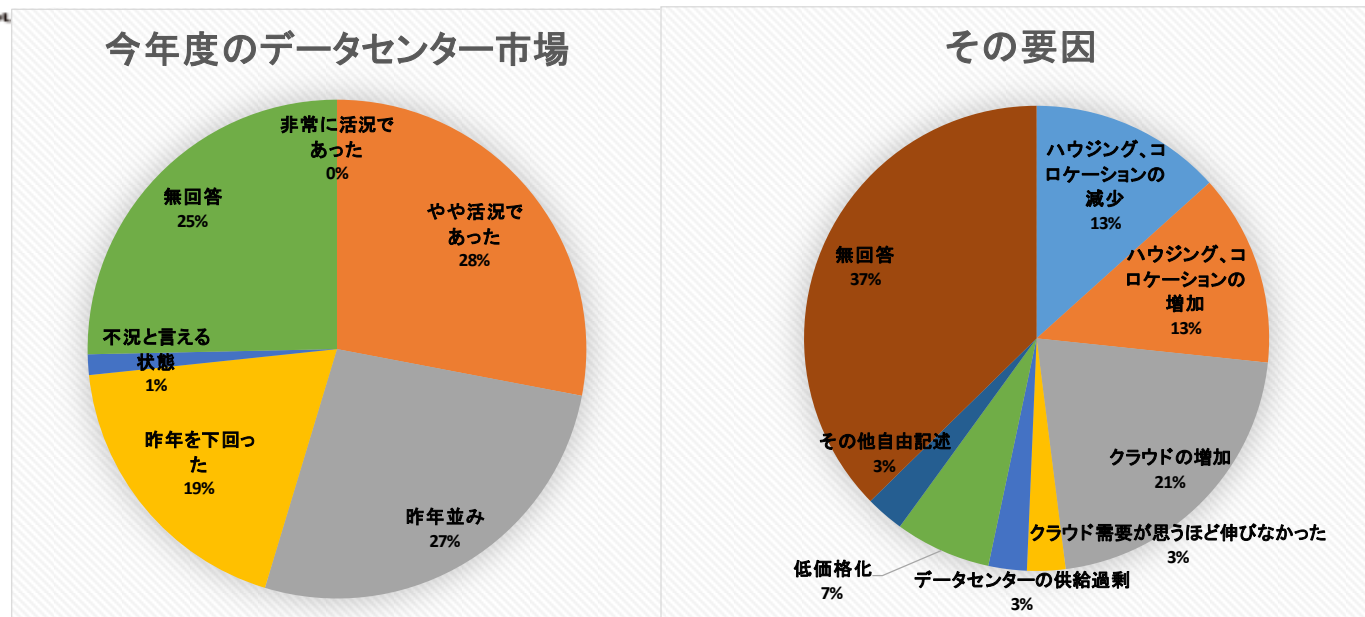
※「設計PUE」と「ファシリティースタンドラードレベル」両方に回答のあったN値 = 49/350

※全体は、「ファシリティースタンドラードレベル」が無回答であったものも含むN値 = 50/350

設計PUEと築年数(N値=48/350)

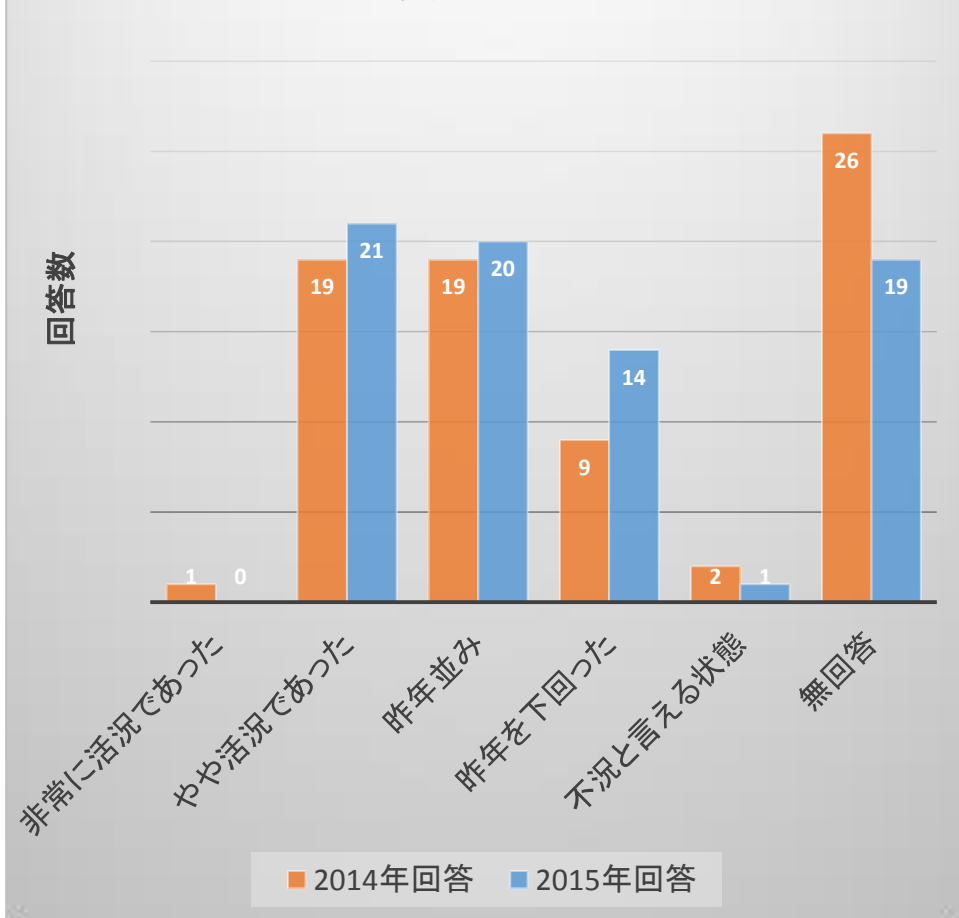
■設計PUE × 築年数(全体)		築年数(2015-DC設置年度)																単位:DC数	
		24	22	21	20	18	17	12	9	8	7	6	5	4	3	2	1		総計
設計 P U E	2.3						1												1
	1.9					1		1											2
	1.8		1							1					1	1			4
	1.7									1	1								2
	1.6			1					1			1					1		4
	1.5		1		1			1					1	5	2	1			12
	1.4	1												2	2	1	1	2	9
	1.3														2	2	1	3	8
	1.2										1		1		2	1		1	6
	総計		1	2	1	1	1	1	2	1	2	2	1	2	7	9	6	3	6

2015年度のマーケット状況

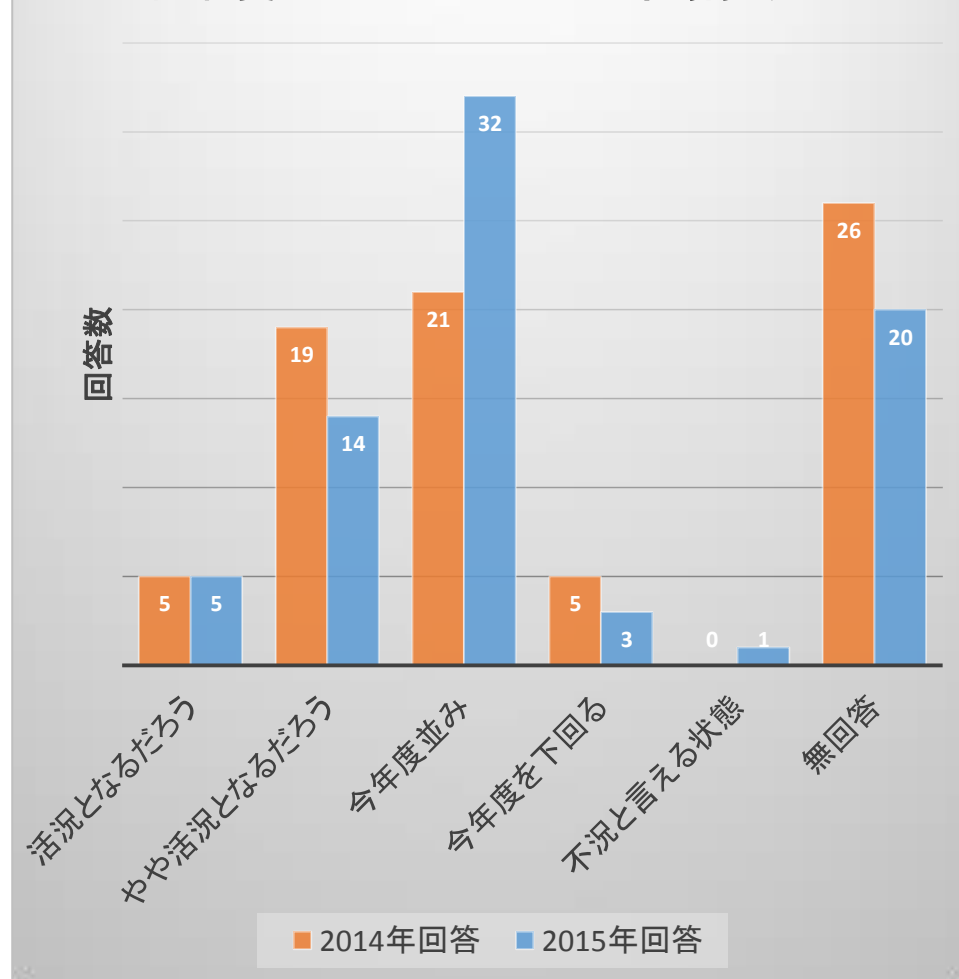


ID	質問内容	項目	今回の集計値		参考: 前回の集計値	
			件数	割合	件数	割合
C22	今年度のデータセンター市場と前年度の比較	非常に活況であった	0	0.0	1	1.3
		やや活況であった	21	28.0	19	25.0
		昨年並み	20	26.7	19	25.0
		昨年を下回った	14	18.7	9	11.8
		不況と言える状態	1	1.3	2	2.6
		無回答	19	25.3	26	34.2
C23.1	前問(Q59)の要因	ハウジング、コロケーションの減少	10	13.3	7	9.2
		ハウジング、コロケーションの増加	10	13.3	7	9.2
		クラウドの増加	16	21.3	15	19.7
		クラウド需要が思うほど伸びなかった	2	2.7	2	2.6
		データセンターの供給過剰	2	2.7	2	2.6
		低価格化	5	6.7	7	9.2
		その他自由記述	2	2.7	3	3.9
		無回答	28	37.3	33	43.4
		C26	直近1年で最も盛況だった取引状況	ハウジング or コロケーション	27	36.0
ホスティング or レンタルサーバ	4			5.3	4	5.3
Paas or IaaS or HaaS or DaaS	21			28.0	20	26.3
ASP or SaaS	3			4.0	3	3.9
無回答	20			26.7	27	35.5

今年度のデータセンター市場と前年度の比較

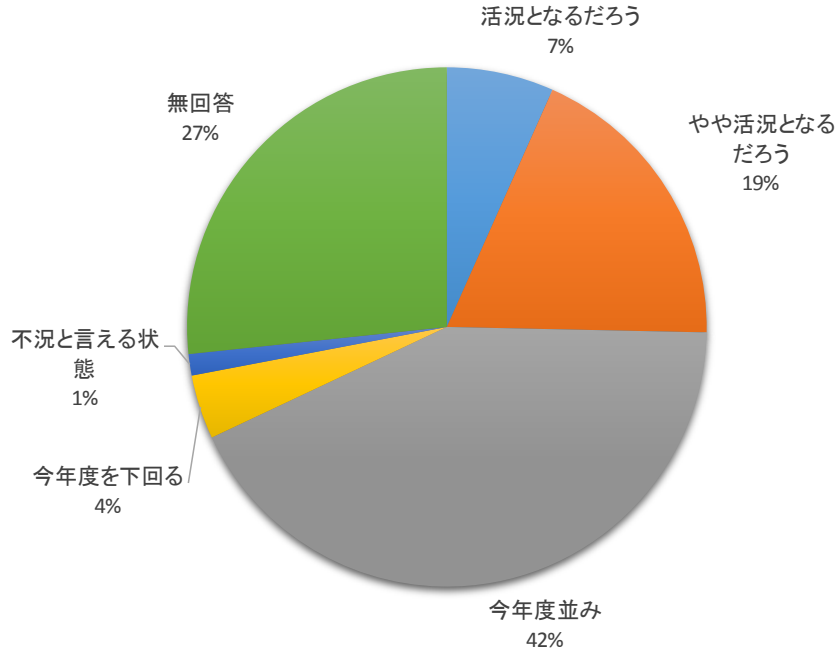


来年度のデータセンター市場見通し

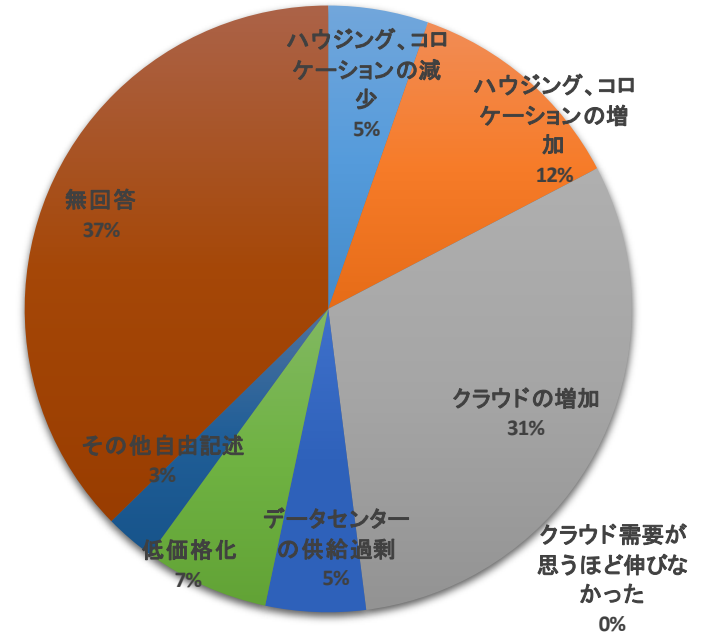


- ▶ エンドユーザー案件は増設やセカンダリ利用が中心で案件規模が縮小傾向
- ▶ 低価格化要求やDC乱立による競争激化。地域によっては堅調な伸び。
- ▶ クラウドの増に比例し、コロケ・ハウジングは減少
- ▶ 首都圏を中心とした災害対策用途だけでなく、四国地域等でのBCP対策や基幹系システムリプレイスに合わせた需要がある。
- ▶ BCP対策として利用していたユーザがコスト削減に着手し、安心して安価なDCへの移行を検討するケースが増加。一方で、DCの供給過剰により、DC事業者間の競争も熾烈になり、差別化が難しくなり、選定しきれないケースもある。
- ▶ 基幹システムのクラウド活用が急速に進んだ事と、物理ハウジングとの連携が好評
- ▶ 昨年度(2014年度)は都心DCの運用開始に伴い既存NW顧客への販売を中心に好調であった。2015年度は既存顧客への商談も一巡し前年度の販売数を下回る形となった。
- ▶ 仮想化や一部クラウド化でユーザの使用ラック数は減少傾向にあるのではないかな？
- ▶ 供給過剰に伴う低価格化
- ▶ AWSをはじめとするパブリッククラウドへの顧客サーバ移行の増加。
- ▶ クラウドサービスの需要が拡大し、BCP・DRニーズも、引き続き堅調に推移している。ただし、クラウドサービスへの移行が進み、コロケーションなどの場所貸は一部のサービスプロバイダに需要が集中してきている。
- ▶ 神奈川地区のDCの契約顧客増加

2016年度のマーケット予想



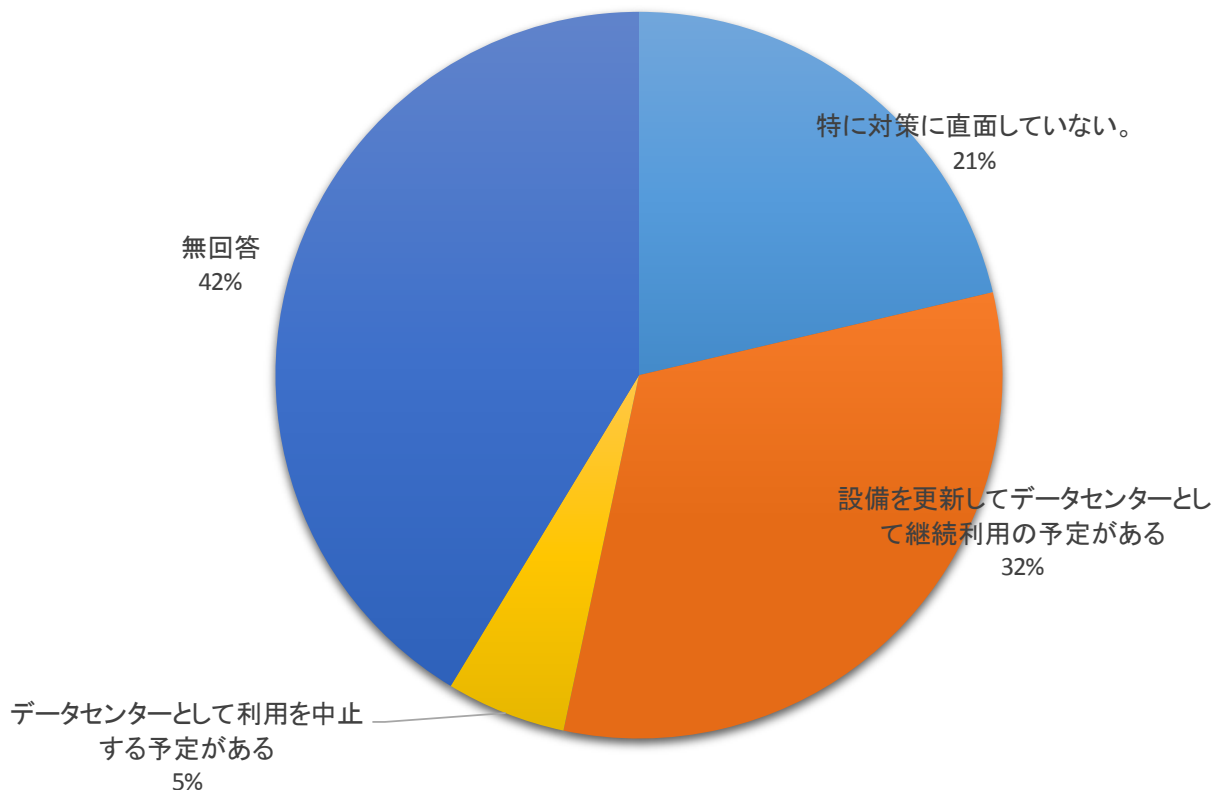
その要因



項目	集計値	今回の集計値		参考: 前回の集計値	
		件数	割合	件数	割合
C24 来年度のデータセンター市場見通し	活況となるだろう	5	6.7	5	6.6
	やや活況となるだろう	14	18.7	19	25.0
	今年度並み	32	42.7	21	27.6
	今年度を下回る	3	4.0	5	6.6
	不況と言える状態	1	1.3	0	0.0
	無回答	20	26.7	26	34.2
C25.1 前問(Q61)の要因	ハウジング、コロケーションの減少	4	5.3	1	1.3
	ハウジング、コロケーションの増加	9	12.0	8	10.5
	クラウドの増加	23	30.7	22	28.9
	クラウド需要が思うほど伸びなかった	0	0.0	1	1.3
	データセンターの供給過剰	4	5.3	4	5.3
	低価格化	5	6.7	6	7.9
	その他自由記述	2	2.7	2	2.6
	無回答	28	37.3	32	42.1

- クラウドサービス増加に伴い、ハウジング利用は減少傾向。ハイブリッド型やネットワークサービスとのセット販売などにより売上増加を見込む。
- クラウドの利用拡大による増と、仮想化によるラック数の減少と、地方センターの建設ラッシュによる供給過剰による価格低下、の三要素の拮抗。
- 中小企業がデータセンターの利用に本格的に取り組みに乗り出す
- 販売ターゲットが既存未契約顧客へ更にシフトしていくため、今年度の販売を下回るレベルで推移するものと想定される。
- 仮想化や一部クラウド化でユーザの使用ラック数は減少傾向にあるのではないか？
- AWSをはじめとするパブリッククラウドへの顧客サーバ移行の増加。
- クラウドファーストが浸透しており、顧客の業務システムにクラウドを適用する動きが顕著に表れてきている。オンプレミスのデータセンターが老朽化に伴う更新時期を向かえ、クラウドファーストの流れと相まってやや活況になると予想する。
- 神奈川地区DCの契約顧客増加

老朽化対策



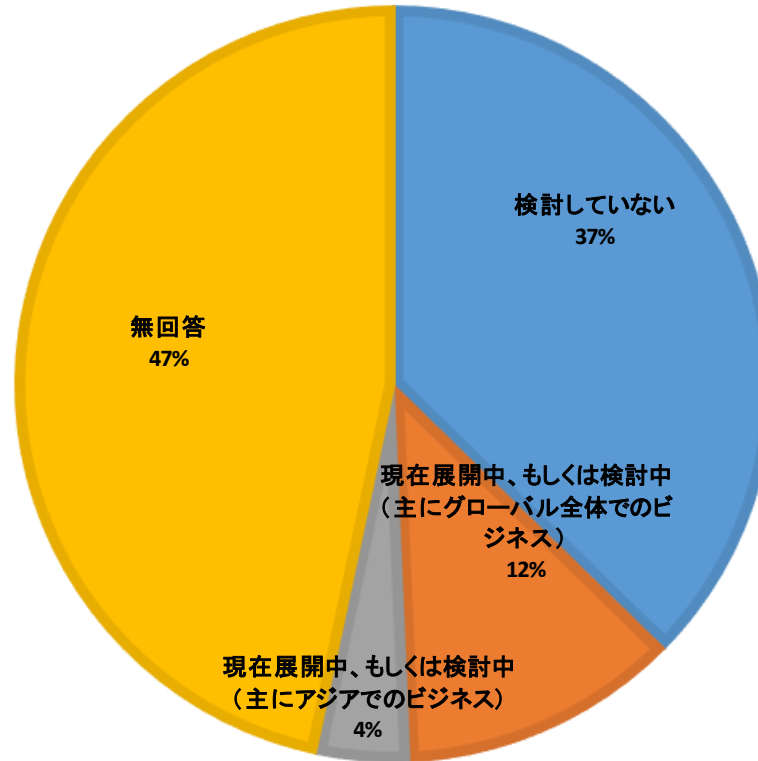
C31	データセンターの更新・老朽化対策について	特に対策に直面していない。	16	21.3
		設備を更新してデータセンターとして継続利用の予定がある	24	32.0
		建物を再建築して、データセンターとして継続利用の予定がある	0	0.0
		データセンターとして利用を中止する予定がある	4	5.3
		無回答	31	41.3

- 設備導入にかかわる補助(計7件) : ①省エネ設備機器導入への補助、②高効率機器へリプレース等、③省エネ効果のある投資への補助金、④新規にエネルギー効率の高い機器に取り替えた場合に設備補助等の検討をお願いしたい、⑤更新費用に対する補助金、⑥設備更新費用、⑦設備更新費用の補助
- 電力料金にかかわる補助(計6件) : ①DC運営にて電力費用が大きな影響がある。電力費用軽減、補助、優遇制度を期待します。②電力費用補助などの優遇制度に大いに期待します。③電力費用補助。④電力費用補助。⑤電力費用の補助などがあれば利用したい。⑥電力費用補助は期待したい
- 移行費用にかかわる補助(計9件) : ①お客様資産の移設にかかる費用への補助、②業者からの再販データセンターが老朽化しており、移設時の費用補助を希望する。③DC間の移設・クラウド移行支援※老朽化したDCから環境性能に優れたDCへ移設する場合には、支援制度が必要。※省エネ性+情報システムの安定・安全性。④移行費用の補助があれば計画しやすい、⑤移行費用補助。⑥移行費用の補助、⑦移行費用補助。⑧移行費用補助。⑨データセンター老朽化対策の目的の一つとして、より省エネ性能に優れたデータセンターに移行させ、電力コストの削減があげられます。この動きは国内のCO2総排出量を下げることがあるため、移行費用補助などの優遇措置があれば拍車がかかると思料します。
- 老朽化対策にかかわる補助(計3件) : ①老朽化対策は、長期間で順次投資を実施する性格のため、長期間の投資に対する優遇措置を期待したい。②築年数が大きいデータセンターの老朽化対策費用補助。③省エネ自助努力に限界があるDCに対する補助の仕組みがあるとありがたい(地域冷暖房会社の冷水のみしか選択肢がないDCの場合等)
- その他制度等について(計7件) :
 - ① 優遇精度について証左となる帳票をもう少し簡素化するべき・自社でデータセンターを構築している企業向けで、DCinDC事業者などはビルオーナー側から帳票が非公開となるなど入手が困難なケースがある・申請したい事業者のみで完結するようにしてもらいたい(申請したい事業者にデータセンタースペースを貸し出している場合、結局貸し出し元が申請を行わないといけない)
 - ② データセンターという建物設備を、サーバのように商品サイクルの短いものと同様に、性能競争市場に政策誘導するべきではない。
 - ③ CO2削減の軽減、UPS等のバッテリー・空調機圧縮機交換時の償却方法等明確な数値があれば良いのですが
 - ④ (問67)補助金。(問68)資格取得のための要件緩和。PUEのみを要件等する等
 - ⑤ 優遇制度に関しては東京都以外の地方都市での同様の政策導入を期待する。
 - ⑥ 今回の優遇制度はクラウド移行への誘導主体だが、単純なコロケ・ハウジングへも適用頂きたい

- 電気料金に関する事項(計6件) : ①電気代の安定化と引下げ、②電気料金を低減する施策を希望する。③電力費用補助などの優遇制度に大いに期待します。④電力費用補助などの優遇制度に大いに期待します。⑤DC事業者向け電気料金の補助金などの政策(DCへの集約化は省エネに貢献しており、低PUE化により顧客へのメリットもある)、⑥電力消費(環境・料金)に関する優遇
- 規制緩和に関する事項(計3件) : ①基準の緩和。(DCの電気設備法定点検頻度を1回/3年に減らしたい)。②電力関連規制の緩和、③建設に関する各種規制緩和、
- 移行費用の補助
- 認証制度等で一定基準を満たしたDCに対して、エネルギーやCO2の各種削減目標を緩和して欲しい。
- DCはマクロな視点で見ると、社会の環境負荷低減に大きく寄与している。DCの重要性を認識して頂きたい。
- データセンターの地方分散化といっても、結局、箱物(センター建設)奨励政策でしかなく、潤うのは建設業界である。国土強靱化や首都圏集中の是正を狙いインフラを強化・支援したいのであれば、取り組むべきはネットワークであり、センター利用の拡大を狙うのであれば、クラウド技術の開発支援だと思います。
- 1.積極的なデータセンター利用2.データセンターを利用するユーザに対する助成策(省エネ型クラウド利用促進等)3.省エネ設備導入に対する助成
- クラウドファーストとは謳っているものの、特殊法人・独立行政法人まで含めると行政システムは、ハウジング/コロケーションがまだまだ圧倒的に多い。行政から積極的なクラウドファースト(情報インフラ戦略の骨子も必要)を推進してほしい。 ※クラウドファーストのより積極的な推進がない限りは地方分散は進まないと思う
- 地方のDCを活用する上で課題となるネットワーク費用について支援の仕組みが欲しい
- DC事業者向け優遇措置の充実と手続きの簡素化
- データの「地産地消」、データセンターの地方分散化
- 東京都で実施している助成金の制度を中小企業だけでなく拡大してほしい。東京都だけでなく中央省庁または他の自治体でも実施してほしい。
- 優遇制度に関しては東京都以外の地方都市での同様の政策導入を期待する。
- 再生可能エネルギー減免措置事業所の住所公表のとりやめ
- 環境に配慮したデータセンターへの補助金制度、各土地でのデータセンター誘致における優遇税制等
- 建設コストの高騰が顕著で、新たな設備投資に対するモチベーションが極端に低下しつつあります。政府の掲げる日本再興戦略「世界最高水準のIT社会の実現」を現実なものとするためにも、IT社会の共通基盤であるデータセンターへの投資促進優遇制度をご検討いただきたい。
- 専用DCではPUE改善支援事業、自然エネルギー設備支援事業を受けやすくしてほしい

海外事業展開

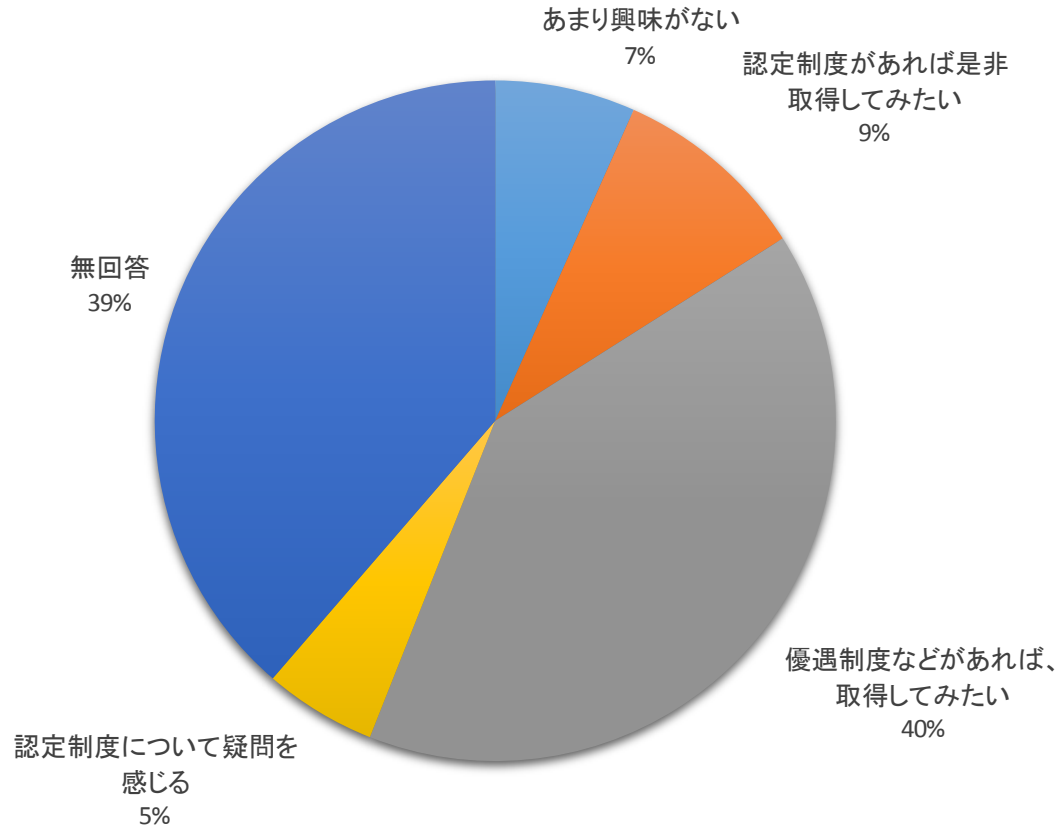
海外事業展開



C30	事業の海外展開	検討していない	28	37.3
		現在展開中、もしくは検討中(主にグローバル全体でのビジネス)	9	12.0
		現在展開中、もしくは検討中(主にアジアでのビジネス)	3	4.0
		現在展開中、もしくは検討中(主に北米でのビジネス)	0	0.0
		現在展開中、もしくは検討中(主にヨーロッパでのビジネス)	0	0.0
		現在展開中、もしくは検討中(その他の地区でのビジネス)	0	0.0
		無回答	35	46.7

環境認定制度について

環境認定制度



C32	認定制度について	あまり興味がない	5	6.7
		認定制度があれば是非取得してみたい	7	9.3
		優遇制度などがあれば、取得してみたい	30	40.0
		認定制度について疑問を感じる	4	5.3
		無回答	29	38.7

- 電力自由化に伴う対応状況など
- 必須項目が不明
- 他データセンター事業者を含めたアンケート結果の分析
- 結果報告上、自家発電機の無給油稼働時間など、一部情報が欠落しているように見受けられます。また、設問67のデータセンターの更新・老朽化対策を会社概要欄ではなく、データセンター概要欄でセンター個別にアンケートしてみてもいかがでしょうか。